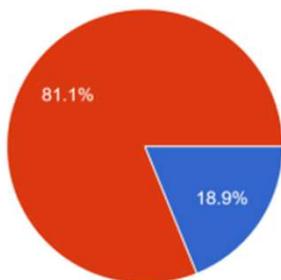


羽咋市民大学2026にむけて 社会教育委員からの考察

受講者について

男女比率 男:女 2:8

市民の男女比率は
ほぼ同じであるのに...

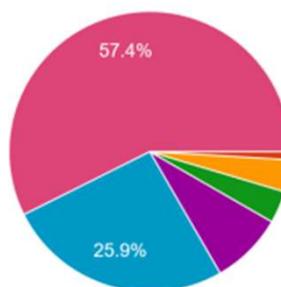


女性の参加率が圧倒的

- ・ **スポーツ教室などの参加率と同じように高い**
- ・ **ご近所付き合いなどの社会参加**

年代分布

10代以下	0 %
20代	1 %
30代	3 %
40代	4 %
50代	11 %
60代	27 %
70代	54 %



羽咋市民について

(2025.4.1現在)

男女比率 男:女 1:1.1

男 9,225人

女 10,213人

合計 19,438人

年代分布

10代未満	981人	5 %
10代	1,436人	7 %
20代	1,456人	8 %
30代	1,447人	7 %
40代	2,148人	11 %
50代	2,731人	14 %
60代	2,604人	13 %
70代	3,654人	19 %
80代	2,269人	12 %
90代以上	712人	4 %

年代分布はほぼおなじ割合だが、60代は割合より多い。
裏かえせば60代はまだまだ現役でチャレンジ精神旺盛

学びを高め合う ひと・まちづくり

第6次 羽咋市総合計画 基本目標

チャレンジ精神を掻き立てる

- ・羽咋市では60代以上の人口が48%を占める。受講者も81%となっており、この世代がメインになる。
- ・男性の参加者があと10%増える工夫が必要。
- ・50代の参加者も増える工夫が必要。
- ・子や孫に話すきっかけになる。
- ・お金はかかるが著名人の講演は得るものがある
- ・コスモアイルの大ホールでフリーの講演もいい
- ・講師のハードルが上がったかもしれない。

講演会の題名
題名からは講演の内容が分からない
コスモアイル羽咋でやった方が駐車場が確保できる

男性が興味を持つ講師を選ぶ

2026羽咋市民大学のテーマについて

「知識か知恵か 変化する時代と健康」

※ 若い人も聞きたくなる講師、がんばらない健康維持、エネルギー溢れる話

受講者数 (130人×2コース)
受講者数の倍増 (今年は150人)



会場のキャパで増やせないなら、コースを増やせばいいのでは。

例えば：トータル5回で1回は共通・オープン参加

Aコース
130人
2回の講座
受講者のみ

コスモアイル羽咋
大ホール
オープン参加
(受講者は前方指定)

Bコース
130人
2回の講座
受講者のみ

料理分野

コウケンテツ

+

○○○○

例: ビリギャルで高校生と親



ネームバリュー有
オープン理由は
来年度の受講者獲得

健康分野

清水宏保

+

○○○○

費用を抑える工夫・継続する事業

講師について思うこと

著名人と地元の学識者のコラボ、羽咋の学識者の発掘

石川県
北 卓也、松本 薫

著名人

佐渡トキ保護センター長
元上野動物園園長(小宮輝之)
鈴木俊幸氏(中央大学教授「べらぼう」時代考証)
ビリギャル(小林さやか)
落語家

地元専門分野
○○○○さん

地元講師で気軽な講演会も企画

